

連 合 審 査

平成20年度一般会計予算については、総務常任委員会に付託されたが、議案の性質上、他の委員会の所管事項と関連するため、教育厚生及び産業建設常任委員会との連合審査により質疑された。

一般会計歳入審査

香美市独自の会議だ。

Q 民生費の県補助金で、健康増進事業の具体的な内容を。

A 法改正によるもので、健康教育、訪問、肝炎ウイルス検査や生活保護者の基本健診について健康増進事業という形で行う。それにかかる県補助金だ。

Q 不動産売り払い収入について具体的な説明を。

A 主に大きなものは土生川改修関係で、旧土佐山田町から土地開発公社に委託した分を香美市が買い取って売却する分が予算に載っている。ほかには、わかふじ団地も三区画分を見込んで計上している。

Q 県補助の新規就農研修支援事業と国庫補助の担い手アクションサポート事業に関連性があるのか。

A 担い手アクションサポート事業費補助金は認定農業者・担い手に対しての顕彰事業費で、新規就農支援事業は別になる。

Q 地域公共交通会議はどういったことをするののか。

A 道路交通法の規定に基づき、地域の実情に応じた旅客輸送サービス実現のために必要な事項を協議する会議を設置するものだ。市営バスを持つ間は半永久的に持たなくては行けない。現在設置している三年間限定の市内交通対策検討委員会は

Q 固定資産税の償却資産税が増額になっているが、課税強化の方向か。また、地方特例交付金がプラスで、特別交付金がマイナスになっているが、その内訳を。

A 償却資産については課税の公平性ということで、順次、法人等の調査を行っている。

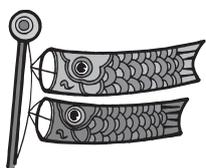
A 特例交付金は、児童手当の拡充分等、特別交付金の方は、減税補填特例交付金が廃止になったための、激変緩和だ。

Q 使用料で、香美森林組合の土場、物部のストックヤード、秋ノ谷工業団地の料金と算出根拠は。

A 秋ノ谷工業団地は二区画で、十二万円、算出根拠は、造成費の金利相当分だ。物部のストックヤードと香美森林組合の土場は、旧町村での契約金額を継続している。その後減額申請が出て、二分の一の減額をし、六十万円と記憶している。

Q アンパンマン美術館使用料と、詩とメルヘン絵本館使用料が減額になっているが。

A 平成十九年度については、平成十八年度の実績より若干落ちているので、減額した。多くを見込んで歳入欠陥になっていけないので、実質に見合う額としている。



一般会計歳出審査

Q 総務費で職員の時間外手当が十九年度の倍になっている。需要費の電気料や燃料費も大幅な増額となっているがその理由を。

A 総務費で職員の時間外手当が十九年度の倍になっている。需要費の電気料や燃料費も大幅な増額となっているがその理由を。姿ではない。今回は総計予算主義に基づいて財政調整基金も取り崩して予算を組んだ。この金額でも、実績からいうと足りない。需用費も実績から計上したものだ。

A 平成十九年度は歳入、歳出のバランスをとるため、当初予算で絞ったが、どうしても必要なため年度途中で、補正を組んだ。初めに少なくして、後で補正というのは本来の

Q 国民健康保険費で、財政安定化支援金の繰入金は、四千万円ということだが、これが精一杯なのか。

A 補助金は探したが非常に補助額が低かった。起債を選択した。

A 国保特別会計の運営状況もみて、十九年度より一千万円増やした。これで精一杯だ。

Q 保育園費建設事業は地方債が七億五千万円、一般財源一億五千三十二万六千円となっているが、国庫補助金は探したのか。

Q 鳥獣被害対策事業の報償費の内訳を。

A 有害鳥獣の捕獲の報償費と狩猟者の予察出務に対する報償費との二本立てになっている。捕獲報償費は、鳥獣それぞれで異なり、予察出務は一人当たり年間一回限りで二千元となっている。



べふ峡温泉

Q 別府森林総合利用施設管理委託料は、合併前のやり方を見直す話も出ていたと思うがその後の経過は。

A 委託料は、予算編成時に、指定管理委託にしたい旨、関係者にお願いましたが、平成二十三年三月末まで現状でということでした承が得られなかった。

Q 消防費の小型動力ポンプ付積載車はどの分団への購入か。積載は軽四、普通車両のどちらか。道路事情も加味されているのか。

A 平成二十年度は片地分団と明治分団へ配備で一・五ト車を予定している。将来的には軽四の配備も考えているが得られなかった。

Q 防火水槽の設置が予算化されていないが、地域からの要望はないのか。また、ハザードマップ作成と防災マップはどうリンクするのか。

A 現在、把握している防火水槽の要望は五件だ。補助対象が四件から五件ということ。で、予算要求していたが、救急車などの購入で翌年度に送らざるを得なかった。

A ハザードマップは国土交通省が物部川、国分川を浸水想定地域と指定して、香美市にマップ作成をいつてきている。災害時の配慮が必要かどうかで、つくるようにしている。自主防災組織の防災マップは、地域に密着したもので、災害時には一番生かされないといけないものだ。



食害防止ネットの設置（三嶺）

Q 平山交流施設の利用状況はどうか。

A 夏場はたくさんあり、平成十九年の十月段階では黒字であった。ウィークデイの利用については、積極的に情報開示していく必要がある。

Q 香北支所の用務員業務委託料、物部支所の委託料などは、予算編成にあたり、行財政改革推進特別委員会の議論を受け、どう反映されたのか。

A 宿日直、用務員の関係は現在、関係各課が集まり、話し合っている。業務内容等が違い、なかなか統一できてない状況だ。

Q 徴税費の還付金が、十九年度は七百万円の予算だったが、何を想定して三千万円になっているのか。

A 税源移譲にかかる還付金を二千五百万円、通常の還付金を五百万円計上している。

Q 電子計算費の委託料、システム運用保守費が大きく増額になっているが。

A 電算業務の運用で職員二名の時間外業務が非常に多く、健康を害するぎりぎりで行っている。監査委員からも指摘を受けている。時間外を減らすための派遣職員の追加だ。

Q 秦山公園の今回の工事は、大半が公有財産の購入と補償で、実際の工事費は四千五百万円だが、どういう工事になるのか。

A 今回、秦山公園には約二億五千万円計上している。公有財産購入費は駐車場がほとんどだ。補償は、墓地あ



秦山公園

るいは個人への補償で工事は第四駐車場整備だけで四千五百万円の予定だ。

Q 商工費で、刃物まつりの補助金は。

A 商工会商工業振興対策事業補助金で刃物まつりに五十万円、ジヤパンブランドに五十万円計上している。

Q 刃物まつりは、香美市の一大イベントで、地場産業の刃物業界にとっても、大切なまつりだ。地場産業をもっと大事にする観点から、補助金を増やすべきだ。

A 緊迫財政というところもある。後継者育成事業にも百二十万円計上している。人的にも、手伝わせて頂きたい。

Q 学校給食費の委託料が十九年度と同額になっている。これまでの指摘から、二十年度は、正常な形に戻るはずでは。業者と調整がつかないのか。

A 施設関係、貸付についてもとりあえず、無償という形になる。中の人員とかその他については変わらない。

Q 営利業者に無償で提供していることが、おかしい。双務契約をきちんと結んでやるべきと指摘している。

A 契約についてはもう少し検討する。

議会を傍聴してみませんか

議会には定例会と臨時会があります。
次の定例会は6月の予定です。